

(様式1)

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2024年8月20日

①事業者名	株式会社Gakken					
②測定ツール名	基礎力測定診断ベーシックコース					
③主な対象者	高校1年生～3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容 の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○		○	
⑥申請する測定ツールの目的・概要	中学校範囲の学習内容を含めた基礎学力の定着度を診断することを目的として、高校1年生～3年生を対象とする。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	P D C Aサイクルを回せる教材・資料を提供する。 P：ワークブックで事前学習 D：テストで学力測定 C：成績資料で学力分析 A：フォローアップテストで補てん					
⑧実施期間、年間実施回数	第1回：令和7年1月から受検申込み開始予定、令和7年4月～7月実施予定 第2回：令和7年6月から受検申込み開始予定、令和7年9月～12月実施予定 第3回：令和7年10月から受検申込み開始予定、令和8年1月～2月実施予定 1年生・2年生は年間3回、3年生は年間2回					
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBT					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	50	50	50			
⑪受検料	3教科／1,730円(税込) 本体1,573円(税抜) 2・1教科／1,530(税込) 本体1,391円(税抜)					
⑫標準返却期間	答案着荷より、3週間前後で成績データ返却					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.gakuryoku.gakken.co.jp/item0320/					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 国語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「国語」の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校 1 年生・2 年生・3 年生を主な対象とし、国語の「書くこと」に関する力、「読むこと」に関する力を測定します。
- 出題範囲は中学校「国語」の学習内容と高等学校「国語」の「現代の国語」「言語文化」とし、学習指導要領に対応した問題を出題します。
- 診断は 8 セットの内容で実施されます。第 1 回では中学校「国語」の学習内容が 5 割程度ですが、徐々に「現代の国語」「言語文化」の学習内容の割合が多くなり、第 8 回では「現代の国語」「言語文化」が 8 割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし、主として知識・技能を問う問題に加え、主としてこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題します。後者については、20 字～30 字程度の記述式問題及び 40 字～60 字程度の記述式問題を出題します。
- 実施方式は、PBT です。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式 5 割、短答式 3 割、記述式 2 割を想定しています。

②出題範囲

- ＜第 1 回（受検時期の目安：高 1、4～7 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 5 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 5 割程度
- ＜第 2 回（受検時期の目安：高 1、9～12 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 5 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 5 割程度
- ＜第 3 回（受検時期の目安：高 1、1～3 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 5 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 5 割程度
- ＜第 4 回（受検時期の目安：高 2、4～7 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 3 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 7 割程度
- ＜第 5 回（受検時期の目安：高 2、9～12 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 3 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 7 割程度
- ＜第 6 回（受検時期の目安：高 2、1～3 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 3 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 7 割程度
- ＜第 7 回（受検時期の目安：高 3、4～7 月頃）＞
 - ・中学校「国語」の学習内容 2 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 8 割程度
- ＜第 8 回（受検時期の目安：高 3、9～12 月頃）＞

- ・中学校「国語」の学習内容 2 割程度、「現代の国語」「言語文化」の学習内容 8 割程度

(3)難易度設定の考え方・方法

○過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- 日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成も心がけます。
- 進学後の学修や就職後の社会生活の場面を意識させる問題設定も心がけます。
- 義務教育レベルの問題から高校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5)その他特長

- 基本事項を確認する「知識・技能」問題から、記述式の「思考力・判断力・表現力」問題まで、小問単位できめ細かい学力分析ができます。

II. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

個人成績表として用紙(B 4)で提供。テスト実施校へ一括して送付。

【テストデータ】

受検科目・型の得点、校内平均点、校内偏差値、校内順位、全国平均点、全国偏差値、到達度ライン(グラフ)

【各教科分析】

受検科目の分野(領域)ごとの配点、得点、評価、全国平均点、校内平均点、到達度ライン(グラフ)、アドバイス(ワークの該当ページを表示)

※評価については、得点率により、A～E で評価する 評価の内容は、右の通り A:基準に到達、B:基準にほぼ到達、C:およそ到達、D:この領域に問題あり、E:学力不足

【成績の推移】

過去に受検した回の科目・3教科型の得点、校内順位、偏差値、到達度ライン(グラフ)の推移表

【学力要素の評価】

国語・数学・英語の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」をA B Cで評価

【英語4技能の評価】

「読む・書く・聞く・話す」をA B Cで評価

※「学力要素の評価」と「英語4技能の評価」の評価については、得点率により、A～C で評価する 評価の内容は、右の通り A:基準に到達、B:およそ到達、C: この領域に問題あり

【小問分析と各教科分析と学習アドバイス】

受検科目の小問ごとの正誤と校内正答率、全国正答率。正答率に応じた具体的なアドバイス

※裏面

【学習状況】

「学習状況リサーチ」により調査した生徒の学力姿勢を表記。

【解答用紙データ】

受検科目のスキャンデータ画像

(2)学校等への結果提供内容・方法

「先生用資料」

〈データA 校内集計：成績一覧〉

【総合成績一覧】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の配点、校内平均点、人数、全国偏差値、前回比較、

全国平均点、到達度ライン

【大問得点】

受検科目の大問ごとの配点、人数、校内平均点、全国平均点、到達度評価(分布・グラフ)、到達度ライン

【クラス別得点表】

受検科目・国数英型・国英型・数英型のクラスごとの平均点

【領域別平均正答率】

国語・数学・英語の領域ごとの正答率

【観点別平均正答率】

国語・数学・英語の観点ごとの正答率

【小問別正答率】

小問ごとの校内正答率と全国正答率の比較

〈データ B 型別集計：国数英〉

【成績推移】

今回と過回の配点合計、平均点、人数、全国偏差値、全国平均点、到達度ライン

【偏差値度数分布】

今回と過回の偏差値度数分布

【個人成績上位者】

順位、クラス、番号氏名、得点、偏差値

〈データ C 教科別集計：国語・数学・英語〉

【成績推移】

今回と過回の配点合計、平均点、人数、全国偏差値、全国平均点、到達度ライン

【大問得点】

大問ごとの配点、人数、校内平均点、全国平均点、到達度評価(分布・グラフ)、到達度ライン

【偏差値度数分布】

今回と過回の偏差値度数分布

【個人成績上位者】

順位、クラス、番号氏名、得点、偏差値

〈データ D クラス別集計〉

【総合成績一覧】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の配点合計、クラスと校内の平均点、人数、偏差値、到達度ライン

【偏差値度数分布】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の偏差値度数分布

〈データ E 得点偏差値対照表〉

国語、数学、英語の得点と全国・校内偏差値の対照表

〈データ F 校内集計：学習状況リサーチ結果〉

【学習状況結果】

意識結果・学習全般と国数英の校内と全体のアンケート回答率

【回答別の平均正答率】

学習全般・国数英の校内と全体の回答別と平均正答率

「特別分析資料」

〈データ A：学力分析①平均点、偏差値度数分布〉

【平均点】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の校内と全国の平均点比較(グラフ)

【偏差値度数分布】

受検科目・国数英型の校内、校内(前回)、全国の偏差値度数分布

〈データ B：大問別得点(全国との比)〉

【大問別得点率】

国語、数学、英語の大問ごとの校内と全国の正答率の比較(グラフ)

〈データ C：大問別得点 5段階評価〉

【大問別得点率】

国語、数学、英語の大問ごとの5段階による評価

〈データ D：クラス別大問得点〉

クラスごとの大問別のクラス平均、学年平均、全国平均のグラフ

〈データ E：クラス別大問得点率〉

生徒個人の受検科目(大問ごとの得点率)・国数英型の得点、偏差値、順位

〈データ F：3教科得点順個人大問別得点率〉

データ E を順位別に並べたもの

〈データ G：小問別得点率比較 国語・英語・数学〉

校内の小問ごとの小問名、配点、貴校平均得点率、全国平均得点率、全国との差、得点率グラフ(校内・全国)

「その他」

個人別の受検科目・国数英型・国英型・数英型の得点、偏差値、校内得点順位の c s v データの提供

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

「全国偏差値」は、「学研標準化偏差値」による値です。「学研標準化偏差値」は、各回を通じて単一のスケールを用いることにより、各種分析などを同一の基準で行い、相関を高める目的で案出されたものです。具体的には、学研の他の模試を基準として「基礎力測定診断」の同一受検校のデータを抽出し、その成績を対比させることによって換算スケールを作成します。このスケールによって算出した値が「学研標準化偏差値」です。

III. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

「基礎力測定診断」では、過去実施の成績データより各小問の正答率を確認し、上下にぶれることのないように問題のチェックを行う。

(2)学校における実施方法

学校において円滑な実施・運営がなされるよう、実施要領を問題用紙等と併せて送付。

〈学校の役割〉

- 試験監督
- 解答用紙(答案)の整理
- 返送準備 ※弊社では、契約している宅配業者が発送伝票も用意し、学校へ回収に伺う
- 問題冊子の処分
- 弊社連絡先としてフリーダイヤルを提示

(3)採点の方法と体制

セキュリティの観点から、第三者の入室ができない部屋を設け、作業を行う(携帯電話・スマートフォンの持ち込み禁止)。

採点には、答案をスキャンし、サーバー上で管理するデジタル採点システムを採用。採点者が小問単位で採点を行うため、誤りがほとんど起こらず、また2人以上で同一問題を採点した結果を照合する。採点基準については、想定される解答を元に行い、サンプル校での結果を加えて精度を高めていく。

(4)情報管理体制

Gakken プライバシーマーク 認定番号：第 10530089(01)号現在の弊社の個人情報保護方針に準じます。

1. 当社は、個人情報を取得する場合には、当社の事業活動に必要な範囲に限定し、事前に利用目的及び提供の有無を明確にし、本人の同意を得た上で、目的の範囲内において適切に利用し、目的外利用を行わないための措置を講じます。
2. 当社は、前項の措置により取得した個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合には、十分な保護水準を満たした者を選定し、契約等により適切な措置を講じます。
3. 当社は、すべての事業で取り扱う個人情報および従業員等の個人情報に関して、個人情報保護に関する法令、国が定める指針およびその他の規範を遵守します。そのため、日本工業規格「個人情報保護マネジメントシステム - 要求事項」(JIS Q 15001:2006)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、適切に運用いたします。
4. 当社は、個人情報への不正アクセス、個人情報の漏洩、滅失又はき損などのリスクに対して合理的な安全対策および是正措置を講じます。
5. 当社は、個人情報の取扱い及び個人情報保護に関する苦情及び相談窓口を設置し、対応いたします。
6. 当社は、本人からの当該個人情報の開示、訂正、削除、利用停止等の要請に対して遅滞無く対応いたします。
7. 当社は、個人情報保護マネジメントシステムを継続的に見直し改善いたします。

【情報セキュリティポリシー】

- 心当たりのないメールは、添付ファイルを開かない、URL をクリックしない
- 秘密扱いの情報は、メール送信一切禁止
- 個人情報はパソコン、USB メモリー等に入れるのも、社外持ち出しするのも禁止
- HTML 形式メールの送信・受信は禁止
- 会社指定以外のストレージサービスは利用しない

- パソコンの USB 差し込み口からモバイルを充電してはいけない
- 他人の ID でパソコンにログインしてはいけない、ID の使い回しは禁止
- 機器は、ワイヤーロック、引出、ロッカーで施錠保管する
- 離席時は必ずコンピューターをロックする
- 業務と関係のない Web サイトへのアクセスは禁止
- 私用機器、私用アドレスを業務に使ってはいけない
- 持ち出しパソコン・モバイルのメールソフトに、メールが保存されてはいけない
- モバイルにはパスコードをかける
- 営業秘密を扱うシステムのアクセス権限は、定期的に権限の見直しをおこなう
- 社屋内では 無線 LAN、Wi-Fi ルーター、テザリングは禁止

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

視覚に関する配慮事項としては学校からの要請により、拡大文字問題冊子を用意する。また聴覚に関する配慮事項としては、リスニング試験の音声スクリプトの配布

(2) 事前／事後学習教材…有。

- ・事前学習…ワークブック※基礎学力を意識し、定着を目的とする教材
- ・事後学習…フォローアップテスト※テストに連動したフォロー教材で定着を図る

(3) 学習状況等のアンケート…有。

- ・内容…意識調査※学習姿勢の意識、教科に関するアンケートを行い、クロス集計で正答率と回答率の相関を分析する

(4) 個人受検の可否…学校及び団体のみの受付け、個人受検は受付けていない

(5) 問題内容の情報提供

学校からの要請により、問題見本の送付を行う。

(6) その他

学校からの要請により、教育委員会への先生用資料の提出を行う。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 中学校「数学」、高等学校「数学Ⅰ」の定着度合いを診断することを目的として、義務教育段階における「数と計算」「図形」「数量関係」や「関数」、また、「数学Ⅰ」においては「数と式」「図形と計量」「二次関数」に関する項目を中心に測定します。
- 出題範囲は中学校「数学」の学習内容と高等学校「数学Ⅰ」とし、学習指導要領に対応した問題を出題します。ただし、選択問題により、数学Aや数学Ⅱも含むことがあります。
- 診断は8セットの内容で実施されます。第1回では中学校「数学」の学習内容がすべてですが、徐々に高等学校の学習内容の割合が多くなり、第8回では選択問題を含めて高等学校の学習内容が7割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし、主として知識・技能を問う問題に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題も出題します。
- 実施方式は、PBT です。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式1割、短答式6割、記述式3割を想定しています。

②出題範囲

- ＜第1回（受検時期の目安：高1、4～7月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容10割程度
- ＜第2回（受検時期の目安：高1、9～12月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容6割程度、「数学Ⅰ」の学習内容4割程度
- ＜第3回（受検時期の目安：高1、1～3月～高2、4月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容4割程度、「数学Ⅰ」の学習内容6割程度
- ＜第4回（受検時期の目安：高2、4～7月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容4割程度、「数学Ⅰ」の学習内容6割程度
- ＜第5回（受検時期の目安：高2、9～12月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度
 - それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度
- ＜第6回（受検時期の目安：高2、1～3月頃）＞
 - ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度
 - それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度
- ＜第7回（受検時期の目安：高3、4～7月頃）＞

- ・ 中学校「数学」の学習内容 3 割程度、「数学Ⅰ」の学習内容 5 割程度
それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容 2 割程度
- ＜第 8 回（受検時期の目安：高 3、9～12 月頃）＞
- ・ 中学校「数学」の学習内容 3 割程度、「数学Ⅰ」の学習内容 5 割程度
それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容 2 割程度

(3)難易度設定の考え方・方法

○ 過去問を基に作成しているため、過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- 解けることが実感できるような基礎的な問題作成も心がけます。
- 日常生活の中でも役立つことが実感できるような設定の問題を一部含むよう心掛けます。
- 義務教育レベルの問題から高等学校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5)その他特長

○ 基礎事項が確認できる短答式問題を前半に配置して繰り返しやすくし、後半には基本的でも書かせる記述式問題を配置しながら、思考力・表現力・判断力を測定していきます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(2)学校等への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

※国語と同じ

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

※国語と同じ

(2)学校における実施方法

※国語と同じ

(3)採点の方法と体制

※国語と同じ

(4)情報管理体制

※国語と同じ

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

※国語と同じ

(2) 事前／事後学習教材…

※国語と同じ

(3) 学習状況等のアンケート…

※国語と同じ

(4) 個人受検の可否…

※国語と同じ

(5) 問題内容の情報提供

※国語と同じ

(6) その他

※国語と同じ

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 英語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「英語」の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校 1 年生・2 年生・3 年生を主な対象とし、英語の「書くこと」、「読むこと」、「聞くこと」、「話すこと」に関する力を測定します。
- 出題範囲は中学校「英語」の学習内容と高等学校「英語」の「英語コミュニケーションⅠ」とし、英語を使ったコミュニケーションの場面を想定した素材を作成し、学習指導要領に対応した問題を出題します。
- 診断は8セットの内容で実施されます。第1回では中学校「英語」の学習内容が9割程度ですが、徐々に「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容の割合が多くなり、第8回では「英語コミュニケーションⅠ」が8割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし、主として知識・技能を問う問題に加え、主としてこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題します。「書くこと」については英作文を、「話すこと」については会話問題を出題します。
- 実施方式は、PBT です。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式4割、短答式4割、記述式2割を想定しています。

Listening…4問程度。全て選択式

(リスニングCDを作成し、10分以内で実施可能な内容に収めます)

Reading…8問程度。選択式、短答式

(各200～250ワード程度の英文読解2セット)

Writing…20問程度。短答式、記述式(予定)

単語の書き取り、空欄への適語補充など、知識・技能に関する問題と、場面設定を与えられたイラストを見て、その内容から想像して英文を書く思考力・判断力・表現力等に関する問題の両方を出題します。

Speaking…1問出題。(測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供)

与えられた場面設定に対して、状況に応じた応答が可能かどうかを判断できる問題を提供します。

②出題範囲

＜第1回（受検時期の目安：高1、4～7月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容9割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容1割程度

＜第2回（受検時期の目安：高1、9～12月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容8割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容2割程度

＜第3回（受検時期の目安：高1、1～3月～高2、4月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容7割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容3割程度

＜第4回（受検時期の目安：高2、4～7月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容6割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容4割程度

＜第5回（受検時期の目安：高2、9～12月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容5割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容5割程度

＜第6回（受検時期の目安：高2、1～3月～高3、4月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容4割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容6割程度

＜第7回（受検時期の目安：高3、4～7月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容3割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容7割程度

＜第8回（受検時期の目安：高3、9～12月頃）＞

・中学校「英語」の学習内容2割程度、「英語コミュニケーションⅠ」の学習内容8割程度

(3)難易度設定の考え方・方法

○過去問を基に作成しているため、過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- 日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成も心がけます。
- 進学後の学習や就職後の社会生活の場面を意識させる問題設定も心がけます。
- 義務教育レベルの問題から高校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5)その他特長

○基礎学力である語彙や文法などの知識に関する問題だけでなく、リスニング問題と記述式の英作問題を出題し、「読む」、「聞く」、「書く」それぞれの能力について、思考力・表現力・判断力を測定していきます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(2)学校等への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

※国語と同じ

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

※国語と同じ

(2)学校における実施方法

※国語と同じ

(3)採点の方法と体制

※国語と同じ

(4)情報管理体制

※国語と同じ

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

※国語と同じ

(2)事前／事後学習教材…有。

※国語と同じ

(3)学習状況等のアンケート…有無。

※国語と同じ

(4)個人受検の可否…

※国語と同じ

(5)問題内容の情報提供

※国語と同じ

(6)その他

※国語と同じ

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社Gakken
測定ツール名:基礎力測定診断ベーシックコース
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I.(1)	I.(2)	I.(3)	I.(4)	I.(5)

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II.(1)	II.(2)
成績帳票	個人成績表Ⅱ-1、先生用資料Ⅱ-2、特別分析資料Ⅱ-3	Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3		

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	基礎力測定診断 実施要領	Ⅲ
学校用実施マニュアル	同上	

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

第1回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を書く</u>ことができる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を読む</u>ことができる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語 〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語などの正しい使い方</u>ができる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容 や筆者の主張などを説明する</u> ことができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 ・ 問四	読むこ と	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙 述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容や筆者の主張、論理の展開などを捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・ 問一、二、三、五、六	読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉え、説明することが</u>できる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 ・ 問一、二、四、五、六、七	読むこと	言語文化 B 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・慣用表現や韻文、引用文や図表などを含む、複合的な内容の論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u>	【設問数】 6 問程度 【出題形式】 記述式 ・選択式	読むこと	現代の国語 C 読むこと（１） イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 B 読むこと（１） エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科 : 国語

測定内容の区分 : 基本タイプ

第 2 回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を書くこと</u>ができる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語 〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語・外来語などの意味を正しく理解</u>できる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容</u> や <u>筆者の主張</u> などを説明す <u>ることができる</u> 。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 ・ 問四	読むこ と	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙 述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容や筆者の主張、論理の展開などを捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・ 問一、二、三、五、六	読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて描写を基に捉え、説明すること</u>ができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 ・ 問一、二、四、五、六、七	読むこと	言語文化 B 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・平易な古典の文について、<u>文語のきまり（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び等）を理解することが</u>できる。 ・義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 6 問程度 【出題形式】 選択式・短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （２） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 中学校学習指導要領 国語〔第３学年〕 〔知識及び技能〕 （３） ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・慣用表現や韻文、引用文や図表などを含む、複合的な内容の論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u>	【設問数】6問程度 【出題形式】記述式 ・選択式 (選択問題)	読むこと	現代の国語 C 読むこと（1） イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 B 読むこと（1） エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科 : 国語

測定内容の区分 : 基本タイプ

第 3 回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を書くこと</u> ができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及 び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使 うこと。 中学校学習指導要領 国語 〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (1) ア 第 2 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大 体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字につい て、文や文章の中で使い慣れること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を読む</u> ことができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語・外来語などの意味を正しく理解</u>できる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式	[知識及び技能]	現代の国語 [知識及び技能] (1) エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 [知識及び技能] (1) イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・論理的な文章について、 <u>内容</u> や <u>筆者の主張</u> などを説明す <u>ることができる</u> 。	【設問数】1 問程度 【出題形式】記述式 サンプル問題 1 ・ 問四	読むこ と	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙 述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容や筆者の主張、論理の展開などを捉える</u> ことができる。	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・ 問一、二、三、五、六	読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて描写を基に捉え、説明すること</u>ができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 ・ 問一、二、四、五、六、七	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・平易な古典の文章について、<u>文章の内容を理解すること</u>ができる。 ・義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・短答式	読むこと [知識及び技能]	言語文化 [知識及び技能] (2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 B 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 中学校学習指導要領 国語 [第3学年] [知識及び技能] (3) ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり（返り点、訓読、など）を理解することができ</u>る。 ・義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 6 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 (選択問題)	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （２） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 中学校学習指導要領 国語〔第３学年〕 〔知識及び技能〕 （３） ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・慣用表現や韻文、引用文や図表などを含む、複合的な内容の論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u>	【設問数】6問程度 【出題形式】記述式 ・選択式 (選択問題)	読むこと	現代の国語 C 読むこと（1） イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 B 読むこと（1） エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科 : 国語

測定内容の区分 : 基本タイプ

第 4 ～ 6 回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を書くこと</u> ができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及 び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使 うこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を読む</u> ことができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語・外来語などの意味を正しく理解</u>できる。 ・ 義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容 や筆者の主張などを説明す ることができる。</u>	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 ・ 問四	読むこ と	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 論理的な文章について、 <u>内容や筆者の主張、論理の展開などを捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・ 問一、二、三、五、六	読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて描写を基に捉え、説明すること</u>ができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 ・ 問三	読むこと	言語文化 B 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 ・ 問一、二、四、五、六、七	読むこと	言語文化 B 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・平易な古典の文章について、<u>文語のきまり（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び、基礎的な助動詞など）を理解することができ</u>る。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （2） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・平易な古典の文章について、<u>文章の内容を理解すること</u>ができる。 ・義務教育段階の学習内容も含む。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式	[知識及び技能]	言語文化 [知識及び技能] (2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 中学校学習指導要領 国語 [第3学年] [知識及び技能] (3) ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり（返り点、訓読、 など）を理解することができ る。</u>	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式 (選択問題)	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>平易な漢文の文章</u>について、 <u>文章の内容を理解すること</u> ができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式 (選択問題)	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・慣用表現や韻文、引用文や図表などを含む、複合的な内容の論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができ</u>る。	【設問数】6問程度 【出題形式】記述式 ・選択式 (選択問題)	読むこと	現代の国語 C 読むこと（1） イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 B 読むこと（1） エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科 : 国語

測定内容の区分 : 基本タイプ

第 7 ・ 8 回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を書くこと</u> ができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及 び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使 うこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>正しい漢字・熟語を読む</u> ことができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語・言語文化 〔知識及び技能〕 (1) ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>ことわざ・慣用句・故事成語・ 四字熟語や語句の正しい使 い方ができる。</u>	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式	〔知識及 び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の 量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方 などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙 を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・論理的な文章について、 <u>内容</u> や <u>筆者の主張</u> などを説明す <u>ることができる</u> 。	【設問数】1 問程度 【出題形式】記述式 サンプル問題 1 ・ 問四	読むこ と	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙 述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・論理的な文章について、 <u>内容や筆者の主張、論理の展開などを捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・問一、二、三、五、六	C 読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉え、説明すること</u>ができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文学的文章について、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u>	【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 ・ 問一、二、四、五、六、七	読むこと	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 古典の文章について、<u>文語のきまり</u>（<u>歴史的仮名遣い</u>、<u>動詞の活用</u>・<u>終止形</u>、<u>係り結び</u>、<u>基礎的な助動詞</u>など）を<u>理解</u>することができる。	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （2） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>古典の文章</u> について、 <u>文章の 内容を理解することができ る。</u>	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式	C 読む こと	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・平易な漢文（漢詩を含む）について、<u>漢文のきまり（返り点、訓読、など）を理解することができる。</u>	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 (選択問題)	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （2） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>平易な漢文（漢詩を含む）について、その内容を理解することができる。</u>	【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 (選択問題)	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 （2） ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・慣用表現や韻文、引用文や図表などを含む、複合的な内容の論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u>	【設問数】 6 問程度 【出題形式】 記述式 ・選択式 (選択問題)	読むこと	現代の国語 C 読むこと (1) イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 言語文化 B 読むこと (1) エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第1回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1)ア (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり、分母を有理化することを含め、根号のついた数の四則計算をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1)ア (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ <u>簡単な一次式の和や差を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(2)ア (ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>2文字からなる整式の式の展開や四則計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(2)ア (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
・ <u>多項式÷単項式の計算をすることや、式の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(1)ア (ア) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な一次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 A(3)ア (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
・ <u>因数分解を含むいろいろな方法で二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
・ <u>2 直線の交点の座標を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 C(1)イ (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
・ 関数 $y = ax^2$ における <u>x の変域に対応する y の変域を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
・ <u>図や表などを活用してすべての場合の数を調べ、それをもとに確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>対頂角，平行線や角の性質を利用して，角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (7) 平行線や角の性質を理解すること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (4) 平行線と線分の比についての性質を見いだし，それらを確認すること。
・ <u>円の基本性質や三角形の角についての基本性質を利用して，角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (4) 多角形の角についての性質が見いだせることを知ること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(2)イ (4) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
・ <u>基本的な柱体，錐体の表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)イ (4) 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現すること。
・ <u>三角形の辺の長さを三平方の定理を利用して求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (4) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>円周角の定理</u> ， <u>半円の弧に 対する円周角を利用して</u> ， <u>角の大きさを求めること</u> が できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(2)イ (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角の定理</u> ， <u>相似な図形 の線分の比の性質を利用し て</u> ， <u>線分の長さを求めるこ と</u> ができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (ウ) 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 2 B(2)イ (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>放物線上の点の座標を求め ることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応 の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し 表現すること。
・ <u>放物線上の 2 点を通る直線 の式を求める</u> ことができ る。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応 の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し 表現すること。
・ <u>放物線上の 2 点を結ぶ線分 の長さや長さの比を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応 の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察 し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現するこ と。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表を活用して、与えられた条件に適する場合の数をすべて求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。
・ <u>図や表を活用して、すべての場合の数のなかで条件に適するものを選び、確率を求める過程を説明することができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。 2 D(2)イ (ア) 同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現すること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名: Gakken

測定ツール名: 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科: 数学

測定内容の区分: 基本タイプ

第2回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>1種類の文字からなる分数の形の一次式の減法</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(2)ア (ウ) 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。
・ <u>平方根のおよその値を数直線上に表示</u> できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1)ア (ウ) 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。
・ <u>公式を利用した因数分解を正しく行う</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2)ア (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>分母が根号を含む式である 分数の分母の有理化</u> がで きる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2 (1) ア (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算 をすること。 2 (1) ア (7) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
・ <u>二次の乗法公式の計算を正 しく行う</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2 (1) ア (7) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>連立方程式の式の特徴を捉え、いろいろな方法でこれを解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(2)ア (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 2 A(2)イ (フ) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。
・ <u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (ウ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
・ <u>二次方程式の 1 つの解から、二次方程式を決定して、残りの解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (フ) 二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。
・ <u>関数 $y = ax^2$ における x, y の増加量や、変化の割合を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (フ) 関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
・ <u>図や表を活用して起こり得るすべての場合を調べ、要求された確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (フ) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>三角形と比の定理を利用して線分の長さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
・ <u>いろいろな四角形の基本性質を利用して角の大きさを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(2)イ (ア) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり，証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。 (イ) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。
・ <u>半径と中心角が与えられたおうぎ形の面積を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積，基本的な柱体や錐体，球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三平方の定理を利用して，図形内の線分の長さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (ア) 三平方の定理を見いだすこと。 (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角と中心角の関係を</u> 利用して角の大きさを求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(2)イ (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>不等式の性質を理解し、や や 複雑な形の一次不等式を 正しく式変形しながら解く ことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>数直線上に 2 つの不等式の 共通範囲を図示するなど し、これらの関係を考察す ることで条件に適する解を 求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付け て、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする こと。 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>整式の整数倍や加法・減法を正しく行う</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(1)ア (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算を すること。
・ <u>文字定数を含む整式において、与えられた条件から文字の値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	1 数と式	数学 I 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>因数分解および式の値を、数学の計算法則を正しく適用して求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・文章題において、 <u>条件を適切な文字式で表す</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	1 数と式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・文章題において、 <u>条件を適切な不等式の形で立式</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (選択問題)	1 数と式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>不等式の性質を理解し、一次不等式を正しく式変形しながら解くことで、問題解決を図る</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (選択問題)	1 数と式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>二次関数がある点を通るとき の定数の値を求めること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	3 二次 関数	数学 I 2(3)ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>二次関数のグラフを定めら れた定義域の範囲で正しく 図示したうえで、最大値と 最小値 について調べるこ</u> とができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (選択問題)	3 二次 関数	数学 I 2(3)ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフを平行移 動して得られるグラフを表 す式を求めること</u> ができ る。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (選択問題)	3 二次 関数	数学 I 2(3)ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名: Gakken

測定ツール名: 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科: 数学

測定内容の区分: 基本タイプ

第3回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (1)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1)ア (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>二次の整式の整数倍の計算や加法・減法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (2)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
・ <u>単項式の乗法、除法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (3)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
・ <u>展開など、分配法則を利用する整式の計算で、計算の工夫をするなど適切に処理することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (4)	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>循環小数の表し方を正しく理解し、循環小数を分数になおす</u>ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (5)	1 数と式	数学 I 2(1)ア (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>基本的な一元一次方程式を、正しく処理し、解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 A(3)ア (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
・ <u>放物線と直線の共有点の x 座標から、放物線を表す式や直線を表す式を決定することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
・ <u>絶対値記号の意味を理解し、絶対値記号を含んだ基本的な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>根号を含む式を整理して、その結果から近似値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
・ <u>図や表を活用してすべての場合の数を求め、その結果を利用して確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平面図形の角に関する基本性質を活用して、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (ア) 平行線や角の性質を理解すること。 2 B(1)イ (イ) 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。
・ <u>錐体、柱体、球について、底面積、側面積、表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三角形の角に関する基本性質を用いて、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (イ) 多角形の角についての性質を見いだせることを知ること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (イ) 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。
・ <u>三平方の定理を座標平面で活用して、2 点間の距離を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>分母が根号を含む式である分 数の分母の有理化</u> ができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	A 数と 式	数学 I 2(1)ア (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計 算をすること。 2(1)ア (7) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
・ <u>対称式の性質を活用した式変 形を行うことで，効率的な無 理数の計算を行うことができ る。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	1 数と 式	数学 I 2(1)ア (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計 算をすること。 2(1)ア (7) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>有名角などの三角比の値を求 めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	2 図形 と計量	数学 I 2(2)ア (7) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用し て、辺の長さや角の大きさを 求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	2 図形 と計量	数学 I 2(2)ア (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理 と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求 めること。
・ <u>正弦定理を利用して、外接円 の半径や三角形の面積などを 求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (選択問題)	2 図形 と計量	数学 I 2(2)ア (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理 と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求 めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 文章題において、 <u>条件を適切な文字式で表すことができる</u> 。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 1 (1)	1 数と式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>文章中の数量関係に着目して不等式を作り、これを解くことができる</u> 。	【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 (2), (3)	1 数と式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>二次関数のグラフと x 軸との 共有点の x 座標を求めること ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>式の基本変形からグラフの頂 点の座標を求めてグラフをか き、このグラフをもとに最大 値や最小値を求めること</u> がで きる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフの平行移動 について理解し、移動で得ら れたグラフを表す式を求める ことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名: Gakken

測定ツール名: 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科: 数学

測定内容の区分: 基本タイプ

第4回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1)ア (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>多項式の整数倍や加法・減法などの基本的な計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
・ <u>単項式の乗法、除法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・展開など、 <u>分配法則を利用する整式の計算で、計算の工夫をするなど適切に処理することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>基本的なたすき掛けの因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>基本的な一次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 A(3)ア (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
・ <u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (ウ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
・ <u>絶対値記号を含む基本的な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>分母が根号を含む式である分数の分母の有理化ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 2 (1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
・ <u>図や表などを活用して確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平行線や三角形の角の基本性質を使って角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (ア) 平行線や角の性質を理解すること。 2 B(1)イ (イ) 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。
・ <u>錐体、柱体、球について、底面積、側面積、表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。
・ <u>平行四辺形の性質を使って角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(2)イ (イ) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (イ) 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。
・ <u>空間図形において、三平方の定理を使うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>基本的な一次不等式を解くこ とができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>一次不等式の基本性質を理解 したうえで、やや複雑な一次 不等式を式変形し、これを正 しく解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>2つの不等式の解を数直線上 に表すなどし、これを考察す ることで条件に適する解を求 めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付け て、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする こと。 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>基本的な二次関数のグラフの 頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>与えられた二次関数のグラフ をかくことで、最大値や最小 値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフの平行移動 について理解し、移動で得ら れたグラフを表す式を求める 過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>有名角などの三角比の値を求 めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	2 図形 と計量	数学 I 2 (2) ア (7) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用し て、辺の長さや角の大きさを 求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群 A)	2 図形 と計量	数学 I 2 (2) ア (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理 と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求 めること。
・ <u>正弦定理を利用して、外接円 の半径や三角形の面積などを 求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群 A)	2 図形 と計量	数学 I 2 (2) ア (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理 と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求 めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>複数個のデータから平均値や中央値，四分位数や四分位範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 B)	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (7) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。
・ <u>複数個のデータから四分位数などを求めて箱ひげ図をかくことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群 B)	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (7) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。
・ <u>データの変化に伴って，正しい結果を得るために必要な作業を判断し，その修正過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群 B)	4 データの分析	数学 I 2 (4)ア (7) 分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
確率の定義を理解し、簡単な事象について確率を求めることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	2 場合 の数と確 率	数学 A 2(2)ア (㍿) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。
図や表を用いて対象を考察し、確率を求める過程を説明することができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群 C)	2 場合 の数と確 率	数学 A 2(2)ア (㍿) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科 : 数学

測定内容の区分 : 基本タイプ

第5回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>分数の形の整式の減法</u> が計算できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
・ <u>公式を利用した因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2)ア (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・分母が根号を含む式である分 数の分母の有理化ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)ア ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算 をすること。 2(1)ア ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
・式の特徴に着目して、置き換 えなどを利用した因数分解が できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)ア ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・展開など、分配法則を利用す る整式の計算で、計算の工夫 をするなど適切に処理するこ とができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)ア ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>連立方程式をいろいろな方法で解く</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(2)ア (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 2 A(2)イ (ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。
・ <u>因数分解を利用して二次方程式を解く</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
・ <u>絶対値記号を含んだ数の計算</u> をすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>根号を含む式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
・ <u>図や表などを利用して確率を求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平行線と線分の比の性質を理 解し、これを活用して線分の 長さや比を求める</u> ことができ る。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確認 めること。
・ <u>錐体、柱体、球について、底 面積、側面積、表面積や体積 を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と 体積を求めること。
・ <u>相似な図形の面積比を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)ア (イ) 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積 比や体積比との関係について理解すること。
・ <u>空間図形の位置関係について 正しく類推し判断する</u> ことがで きる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (ア) 空間における直線や平面の位置関係を知ること。
・ <u>三角形の合同条件などを利用 して、線分の長さや角の大き さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(2)イ (ア) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基 本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を 見いだしたりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>基本的な一次不等式を解くこ とができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>一次不等式の基本性質を理解 したうえで、やや複雑な一次 不等式を式変形し、これを正 しく解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>2つの不等式の解を数直線上 に表すなどし、これを考察す ることで条件に適する解を求 めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	1 数と 式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付け て、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする こと。 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>二次関数のグラフをかいたうえで最大値や最小値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す二次関数の式を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次 関数	数学 I 2 (3) ア (7) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用して、辺の長さや角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	2 図形 と計量	数学 I 2(2)ア ㋝ 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
・ <u>正弦定理を利用して、外接円の半径や三角形の面積などを求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	2 図形 と計量	数学 I 2(2)ア ㋝ 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>独立な試行などについて、確率や期待値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)	2 場合 の数と確率	数学 A 2(2)ア (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。
・ <u>反復試行の確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)	2 場合 の数と確率	数学 A 2(2)ア (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>二次方程式の解を判別したり、二次方程式の解と係数の関係を用いて計算を効率的に行ったりすることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
・ <u>剰余の定理を用いて整式の余りを求めたり、因数定理を用いて三次方程式の解を求めたりすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第6回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり, それらの四則計算を正しく行ったりすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1)ア (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ <u>目的に応じて, 等式の簡単な変形をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (エ) 目的に応じて, 簡単な式を変形すること。
・ <u>文章中に示された数量関係を捉え, それらを数式で表すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・置き換えを利用する因数分解 ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・展開など、 <u>分配法則を利用す る整式の計算で、計算の工夫 をするなど適切に処理するこ とができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と 式	数学 I 2(1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>2つの数や式の大小関係を正しく判断し、絶対値記号を外した計算をすることが出来る。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>基本的な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	3 二次関数	数学 I 2(3)ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>図や表を活用して、対象となる場合について考察し、確率を求めることができる。</u>	【設問数】 2問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>三角形や四角形を空間内で平行移動してできる三角柱や直方体等について、線分の長さや移動した面積などを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)イ (ア) 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。
・ <u>展開図から錐体や柱体の底面積、側面積、表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さと面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。
・ <u>相似な三角形の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (ウ) 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。
・ <u>三平方の定理を空間図形に用いることで、線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角と中心角の関係を利用することで、円に内接する図形の角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(2)イ (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>二次関数のグラフを正しくかくことで、二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す式を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>鋭角の三角比の相互関係が利用できる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用して、辺の長さや角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
・ <u>正弦定理を利用して、外接円の半径や三角形の面積などを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>具体的ないくつかのデータから、平均値や中央値、四分位数や四分位範囲、分散や標準偏差などを求めたり、データに適する箱ひげ図を選んだりすることができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	4 D データの分析	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (ア) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。 数学 I 2 (4)ア (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。
・ <u>簡単な事象の確率を求めた上で、これをもとにして色々な試行の確率や期待値を求めることができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 B)	2 場合の数と確率	数学 A 2 (2)ア (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>二次方程式の解の種類の判別</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
・ <u>剰余の定理を用いて、整式の余りを求めたり、因数定理を用いて、三次方程式の解を求めたりすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
・ <u>三次方程式について、因数分解と判別式を用いてすべての解が実数である条件を求めたり、解と係数の関係から対称式の値を求めたりすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 2(1)イ (ア) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第7回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>2文字からなる分数の形の整式の和や差を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
・ <u>簡単なたすき掛けの因数分解ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>分母が根号を含む式である分数の分母の有理化ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)ア (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 2 (1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>目的に応じて、等式の簡単な変形をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(1)ア (エ) 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
・ <u>文章中の数量関係を数式で表すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(1)ア (ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>絶対値記号を含んだ簡単な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
・ <u>基本的な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)イ (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次関数	数学 I 2(3)ア (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>関数 $y=ax^2$ のグラフと座標軸に平行な直線の交点の座標を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 C(1)イ (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表を活用して確率を求め ることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D デー タの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を 基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平行線と線分の比の性質を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確認すること。
・ <u>円錐について、側面のおうぎ形の中心角や側面積、体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三角形と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(1)イ (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
・ <u>三平方の定理を空間図形で利用することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角と中心角の関係を利用できる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(2)イ (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・通る点，切片，軸などの条件から， <u>二次関数のグラフを決定</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
・ <u>二次関数のグラフを正しくかくことで，二次関数の最大値や最小値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す式を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	3 二次関数	数学 I 2 (3) ア (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>鋭角の三角比の相互関係が利用できる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	2 図形と計量	数学 I 2 (2) ア (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用して、辺の長さや角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2 (2) ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
・ <u>三角形の面積を求めるのに必要な情報を判断して、それらを組み合わせて面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2 (2) ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>具体的ないくつかのデータから、平均値や中央値、四分位数や四分位範囲、分散や標準偏差などを求めたり、データに適する箱ひげ図を選んだりすることができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	4 D データの活用 データの分析	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (ア) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。 数学 I 2 (4)ア (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。
・ <u>簡単な事象の確率を求めた上で、これをもとにして色々な試行の確率や期待値を求めることができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 B)	2 場合 の数と確率	数学 A 2 (2)ア (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。 (エ) 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。
・ <u>二次方程式の解の種類を判別できる。また、剰余の定理を用いて整式の割り算の余りを求めたり、因数定理を用いて三次方程式を解いたり、三次方程式が 3 つの実数解をもつ条件を求めたりすることができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	1 いろいろな式	数学 II 2 (1)ア (エ) 二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 2 (1)イ (ア) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名: Gakken

測定ツール名: 基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科: 数学

測定内容の区分: 基本タイプ

第8回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり、根号のついた数の四則計算をすることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1)ア (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ <u>公式を利用した因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2)ア (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
・ <u>整式の加法・減法を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1)ア (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な無理数の四則計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)ア (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
・ 展開など、 <u>分配法則を利用する整式の計算で、計算の工夫をするなど適切に処理すること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2(1)ア (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 2(1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>連立方程式を、いろいろな方法で解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 A(2)ア (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 2 A(2)イ (ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。
・ <u>因数分解を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A(3)ア (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
・ <u>絶対値記号を含んだ簡単な不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	1 数と式	数学 I 2 (1)イ (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。
・ <u>関数 $y = ax^2$ のグラフ上の 2 点を通る直線の式を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 C(1)イ (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 C(1)イ (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表を活用して確率を求め ることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D デー タの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(2)ア (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を 基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>対頂角や平行線の角の性質を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (ア) 平行線や角の性質を理解すること。
・ <u>錐体、柱体、球について、底面積、側面積、表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2 B(2)ア (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めること。
・ <u>平行四辺形の性質を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(2)イ (ア) 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。 (イ) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。
・ <u>空間図形において三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 B(3)イ (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ 多角形の他の内角の大きさから、 <u>1つの外角を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 B(1)ア (イ) 多角形の角についての性質が見いだせることを知ること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>鋭角の三角比の相互関係を利用して、いろいろな三角比の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。
・ <u>余弦定理や正弦定理を利用して辺の長さや角の大きさを求めること、また、その過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
・ <u>三角形の面積を求めるのに必要な情報を取捨選択して、面積を求める過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	2 図形と計量	数学 I 2(2)ア (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>複数個のデータから平均値，中央値や四分位数，四分位範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (ア) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。
・ <u>複数個のデータから箱ひげ図を正しく選ぶことができる。</u> <u>また，そのように判断した理由を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2 D(1)ア (ア) 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。
・ <u>複数個のデータから分散を求める過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	4 データの分析	数学 I 2 (4)ア (ア) 分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>恒等式の係数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)イ (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。
・ <u>二次方程式の解の種類の判別</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
・ <u>二次方程式の解と係数の関係</u> を用いて、対称式の値を求めたり、特定の解をもつ方程式を作ったりすることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 A)	1 いろいろな式	数学Ⅱ 2(1)ア (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 2(1)イ (イ) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な円や直線の方程式を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 B)	2 図 形と方程式	数学Ⅱ 2(2)ア (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。
・ <u>点と直線の距離を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 B)	2 図 形と方程式	数学Ⅱ 2(2)イ (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>具体的な三次関数の導関数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	5 微分・積分の考え	数学Ⅱ 2(5)ア (ア) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。
・ <u>二次関数のグラフ上の点における接線の方程式を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	5 微分・積分の考え	数学Ⅱ 2(5)ア (ア) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。
・ <u>三次関数の極値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群 C)	5 微分・積分の考え	数学Ⅱ 2(5)ア (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

第1回～第3回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた<u>英文を聞き取り、正しく応答することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4問程度 【出題形式】選択式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号1を参照。	聞くこと	中学校 英語 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き

			取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
--	--	--	-------------------------

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられたアルファベットと日本語の意味から、<u>中学校で学習した単語を類推することができる。</u> ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語，連語及び慣用表現 (ア) 1 に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる，小学校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 日本語の意味から、英語を類推し、<u>前置詞を用いた熟語を正しく使うことができる。</u>	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語, 連語及び慣用表現 (イ) 連語のうち, 活用頻度の高いもの (ウ) 慣用表現のうち, 活用頻度の高いもの

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ 中学校で学習した文法を正しく使い、<u>英語を書くことができる</u>。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4 問程度 【出題形式】短答式、または選択式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 中学校で学習した文法を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・各200～250語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u>	【設問数】8問程度 【出題形式】選択式、 短答 サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。	読むこと・書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要

			や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
--	--	--	---

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 与えられた英単語を<u>並べかえて</u>，正しい英文を作ることができる ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4 問程度 【出題形式】短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文(15～25語)を書くことができる。</u>	【設問数】1問程度 【出題形式】記述式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号3参照。	書くこと 中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し, 英語で表現したり, 伝え合ったりすることに関する事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 対話や説明などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。	

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた場面設定を理解し、状況に適した会話を発話することができる	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 スピーキング試験は実施せず。 サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。	話すこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 エ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 オ 話すこと〔発表〕 (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する 語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりす

		る活動。 （イ）社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な 進め方が示される状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の 立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 エ 話すこと〔発表〕 （ア）身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する 語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 （イ）社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり， 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--	---

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名 : Gakken

測定ツール名 : 基礎力測定診断 ベーシックコース 高2

対象教科 : 英語

測定内容の区分 : 基本タイプ

第4回～第6回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・放送される<u>英文</u>を聞き取り、 <u>正しく応答することができ</u> <u>る</u>。 ※義務教育段階の学習内容の 定着度合いを測定する。	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 選択式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号 1 を 参照。	聞くこと	中学校 英語 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 高等学校英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (1) 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられたアルファベットと 単語の関係性から、 <u>単語を類 推し、書くことができる。</u>	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア) 1 に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる, 小学 校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ 日本語の意味から、英語を類推し、<u>前置詞を用いた熟語を正しく使うことができる。</u>	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語，連語及び慣用表現 (イ) 連語のうち，活用頻度の高いもの (ウ) 慣用表現のうち，活用頻度の高いもの

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられた日本語を理解し、指示に従って<u>英語を適切な形に変えることができる。</u>	【設問数】4問程度 【出題形式】短答式、または選択式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ 中学校で学習した文法を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・各200～250語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u>	【設問数】8問程度 【出題形式】選択式、 短答式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。	読むこと・書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や

			要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして 伝え合う活動。
--	--	--	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられた英単語を<u>並べかえて</u>、正しい英文を作ることができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4問程度 【出題形式】短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文、文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文（15～25語）を書くことができる。</u>	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号 3 参照。	書くこと 中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた場面設定を理解し、<u>状況に適した会話を発話</u>することができる	【設問数】 1 問程度 【出題形式】スピーキング試験は実施せず。 サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。	話すこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 エ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 オ 話すこと〔発表〕 (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する 語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりす

		る活動。 （イ）社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な 進め方が示される状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の 立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 エ 話すこと〔発表〕 （ア）身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する 語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 （イ）社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり， 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--	---

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高3

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

第7回・第8回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた英文を聞き取り、正しく応答することができる。 ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4問程度 【出題形式】選択式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号1を参照。	聞くこと	中学校 英語 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (1) 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 (イ) 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられたアルファベットと 単語の関係性から、 <u>単語を類 推し、書くことができる。</u>	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア) 1 に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる, 小学 校で学習した語に1600～1800 語程度の新語を加えた語。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・日本語の意味から、英語を類推し、<u>英文中の空欄を埋めて正しい英文を作ることができる。</u>	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現 (イ) 連語のうち、活用頻度の高いもの (ウ) 慣用表現のうち、活用頻度の高いもの

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられた日本語を理解し、指示に従って<u>英語を適切な形に変えることができる。</u>	【設問数】4 問程度 【出題形式】短答式、または選択式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ 中学校で学習した文法を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。	【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文，文構造及び文法事項

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・各200～250語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u>	【設問数】8問程度 【出題形式】選択式、 短答式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。	読むこと・書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や

			要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして 伝え合う活動。
--	--	--	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられた英単語を<u>並べかえて</u>、正しい英文を作ることができる ※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。	【設問数】4 問程度 【出題形式】短答式	書くこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文、文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文(15～25語)を書くことができる。</u>	【設問数】1問程度 【出題形式】記述式 サンプル問題あり。 サンプル問題番号3参照。	書くこと 中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられた場面設定を理解し、<u>状況に適した会話を発話</u>することができる。	【設問数】 1 問程度 【出題形式】 スピーキング試験は実施せず。 サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。	話すこと	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔思考力，判断力，表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 エ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 関心のある事柄について，相手からの質問に対し，その場で適切に応答したり，関連する質問をしたりして，互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について，伝えようとする内容を整理し，自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。

		(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 オ 話すこと〔発表〕 (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する 語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な 進め方が示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 エ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	現代の国語																															
出題のポイント	国語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「国語」の学習内容を含めて基礎学力（論理的文章）の定着度合いを確認する。																															
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問六</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問一	○			問二	○			問三		○		問四		○		問五		○		問六		○	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																														
問一	○																															
問二	○																															
問三		○																														
問四		○																														
問五		○																														
問六		○																														
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四			○	問五	○			問六	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																													
問一	○																															
問二	○																															
問三	○																															
問四			○																													
問五	○																															
問六	○																															
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く																							
小問番号	聞く	読む	話す	書く																												
サンプル問題	別紙1 参照																															
解答例	問一　A　ウ　B　オ　問二　イ　問三　ア　問四　文章の終わりを予測して、正しく音読できるのは、文章の構造が身についているということだから。　問五　イ　問六　ウ																															
（参考）学習指導要領の関連項目	現代の国語 C　読むこと（1） ア文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。																															

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	言語文化
出題の	国語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「国語」の学習内容を含

ポイント	めて基礎学力（文学的文章）の定着度合いを確認する。																																												
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td colspan="3">○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td colspan="3">○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td colspan="3">○</td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>問七</td><td></td><td colspan="3">○</td></tr></table>					小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			問一	○				問二	○				問三		○			問四		○			問五		○			問六	○				問七		○		
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																											
問一	○																																												
問二	○																																												
問三		○																																											
問四		○																																											
問五		○																																											
問六	○																																												
問七		○																																											
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問七</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>					小問番号	選択式	短答式	記述式		問一	○				問二	○				問三			○		問四	○				問五	○				問六	○				問七	○			
小問番号	選択式	短答式	記述式																																										
問一	○																																												
問二	○																																												
問三			○																																										
問四	○																																												
問五	○																																												
問六	○																																												
問七	○																																												
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					小問番号	聞く	読む	話す	書く																																			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																																									
サンプル問題	別紙 2 参照																																												
解答例	問一 イ 問二 ア 問三 I 母の気弱な様子に不安を感じたから。（別解）死を覚悟した母の気持ちが悲しかったから。 II 母の気持ちを明るくしたかったから。（別解）その場の深刻さを紛らわそうとしたかったから。 問四 ア 問五 ウ 問六 イ 問七 イ																																												
（参考）学習指導要領の関連項目	言語文化 B 読むこと（1） ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。																																												

サンプル問題 1

三

現代文（評論）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

（25点）

上達という事で言うと、ある事柄がうまくなるときに、それだけがうまくなって終わりの人と、そのことを通じて上達力とでもいふべき応用の効く力が身につく人との違いがある。その上達力を身につけた人というのは、それ以外のことに對しても応用が効くので、次の事柄に向かったときの上達が早くなる。

たとえばある人が中学か高校の先生になって、好きな部活の指導をしたとする。自分は野球部の出身なので、とにかく野球を教えたい、というわけだ。だが、単に野球を教えるのと、野球を通じてその後一生生きていくために必要な上達の極意を伝えるのとは、違うことである。

厳しい練習をして、野球はうまくなったとする。しかし、生徒たちが社会に出たときに何か新しい課題を与えられて、五里霧中、頭は白紙という状態になるのでは、学校教育の中で野球をやった意味がちょっと少ない。鍛えられたのは指導にしたがう根性だけ、従順な心だけというのでは、ちょっとさみしい。

勉強や部活動を通して上達の普遍的な原則を相手に伝えるのだという意識を常に持っている人が、教育力のある人だと私は思う。

この生きていくために大切な上達力の基盤になるのが、真似る力だ。「真似る」というのは、何となく「ひとまねこざる」のよう①で、もう一つ聞こえがよくない。だが実際には、この行為は人間が新しいことを獲得するときに、どうしても必要なことなのである。〈中略〉

全く誰からも学ばないで新しいことを始めるといふことは、歴史上あまり例がない。天才といわれている人、モーツァルトにせよ、ピカソにせよ、どの領域の天才も、無から生み出す独創性があつたというよりも、学習速度がほかの人よりも速かつたといふことだと思う。

かなり速い速度でほかのものを吸収してしまうと、それらを組み合わせて自分のスタイルをつくっていくことができる、といふことなのである。だから、学習のプロセスとしては、まずはそこまでするいろいろなものを真似して吸収する。その上で、それらをアレンジして自分なりのものを提示する。②これは普遍的な原則だと思う。

A クリエイティビティ（創造性）ということに関して、全く人のものを見ないで、影響を受けずに自分の内側から湧き

出るものに耳を傾けるといいものができるというような、根拠のない幻想が広まってしまったので、模倣力というものが軽んじられてきた。

たとえば復唱方式で、寺子屋のように先生が上手に『論語』等を読んで、子どもたちが日本語らしく復唱するということは、これはすでに真似る力だ。^③英語でも日本語でも音読を聞くと、区切り方で、その人が意味を理解しているのかどうか、ということもわかる。

*^④谷崎潤一郎の『春琴抄』は日本語として完成度の高いものだ。その『春琴抄』の場合は、点や丸が文章にほとんどない。だから切れ目などがどこかわからない。一文が一ページぐらい続いたりする。

日本語のわかっている人にとっては、句読点はないけれども、ああここで実際には切れているんだということはわかる。それを初見（初めて見た状態）ですらすらと音読できたとする。そうするとその人は、明らかに日本語の能力が高いということになる。だが、子どもたちにそれを読ませると、大学生でもそうだが、つかえつつかえになつて変なイントネーションになる。そういう変な読み方をしている場合は、どこで文章が終わるのか、予測力がないのだ。文章の構造が身についていないから、ここで終わるという予測ができない。

この訓練のために、まず先生が上手に読んでみせる。続いて子どもたちがそれを復唱する。口伝えだ。口伝のようなものである。

かつては能の芸など、世阿弥が言うように「ほかの家に芸の秘密が漏れたら、終わりだ」という考えだった。**B**、世阿弥の『風姿花伝』とか『花鏡』が出てきたのは最近——明治末期——のことなのである。それまでは門外不出の秘伝の書だった。

このように、大切なことは言葉にせよ技にせよ、身体から身体へ伝えるということを前提にした教育方法で伝えられてきた。それがむしろ日本の文化の主流だったのである。

一対一で行われる、高い集中力の場合が修業の場、厳しい雰囲気を生んでいた。そのような空間で初めて伝えられるものがあつた。かつては身体から身体へ伝えていく教育方法があつた。

しかし考えてみると、人の口から出たイントネーションをそのまま真似てみる、そのことによって自分のなかに文化的な内容を吸収させていく——これは別に能の世界に限らず、一般的に行われていることでもある。

問五 傍線部④「そのようにして学ぶ人」とあるが、どのように学ぶ人のことか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 能の世界の教育方法を真似して、秘伝の技を直接教えてもらおうとする人。
- イ ほかの人の行動や言葉を真似して、その内容や意味を吸収しようとする人。
- ウ 厳しい修業に取り組み、身体を極限にまで追いつめて神髄を得ようとする人。
- エ むだな時間を過ごさず、常に緊張して周囲の様子に気を配ろうとする人。

問六 本文の内容と合致しているものを次の中から一つ選び、符号で答えなさい。

- ア モーツァルトやピカソといった天才たちは、自分の内側から湧き出るものを作品としてつくりあげた。
- イ かつての寺子屋のような復唱方式で学ぶという形式の教育は、現在の日常生活では役に立たない。
- ウ 日本文化は、主に身体から身体へ伝えていくという教育方法によって伝承されてきたと考えられる。
- エ 一対一で行われる、高い集中力を伴った修業の場で学ばないと、応用の効く上達力はない。

四

現代文(小説)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(25点)

バブル^{*}の崩壊で会社を失い、妻(英子)とも別れてしまった城所安男(愛称「ヤッちゃん」)は、重度の心臓病を患う母を救うため、奇跡を起こすという心臓外科医のいる病院まで、母を乗せて百マイル(約百六十キロ)をドライブすることを決意する。彼は、多くの人々の善意に支えられて病院に到着し、ついに手術の日の朝を迎える。

安男は荒れ狂う海を見た。高波は揉み合いながら盛り上がり、獣のように双手をかざして汀に碎け散った。突堤はすでに波に洗われている。水平線にわだかまる黒雲は、嵐の精のすみかなのだろうか。空は暗く低く、息もつがずに唸り続けていた。

①「兄貴たちも、もうじき着くって」

安男の嘘を、母は目を閉じて受け止めた。たぶん、信じはしないだろう。

②「時間が早いからねえ。きつと間に合わないだろうけど、いいよ。目が覚めたら、ゆっくり会えるし」
そうじゃないだろう、おかあちゃん。

このまま永遠に目が覚めないかもしれないって、考えているんじゃないのか。

「ねえ、ヤッちゃん。おにいちちゃんたちに会ったら、伝えて。ひとりずつ、そつと」

③「何だよ、遺言か」

安男は泣きながら笑った。

「高男には、社長さんになれって。おまえならなれるって。秀男には、ここに負けないぐらいの大きな病院を建てて、院長さんになれって。おまえならできるって。優子には、頭取夫人になれって。秋元さんなら、きつとなれるよって」

④「もういいよ、おかあちゃん。もういい、もういい。そんなに偉くなってどうするんだ」

「誰にも負けてほしくないんだよ。六畳のちゃぶ台で輪になって勉強してたあの子たちだから、誰にも負けちゃいけないんだ。立派な机を持って、塾に通ってた子供たちに、負けちゃだめなんだ」

「負けやしないよ。大丈夫だって」

「おかあちゃん、精いっぱいだったの。ごはんを食べさせるだけで、何ひとつしてあげられなかったでしょ。ごめんねって、みんなに言つてよ。きつと、みんなおかあちゃんのことを憎んでるんだ。辛い思いをさせて、ひどい苦勞もさせちゃって。だからみんな、もうおかあちゃんの顔なんて、見たくないんだよ」

「やめろよ、おふくろ」

突然に崩れた母の顔を、安男は胸の中に抱きしめた。母は顎を軋ませ、声を殺して泣いた。

「それから……英子さんに」

「英子に？」

⑤「大金持ちの社長夫人になれて。あんたならできるって、言つてあげて。もういちど……もういちど……いいね、ヤッちゃん。もういちど……おまえなら、できるよ……」

母は眠ってしまった。軽いいびきを聞きながら、安男は母の乾いた顔を抱き続けた。

嵐が空を真黒に染めてにじり寄ってくる。海鳴りは猛々しい咆哮に変わった。

もういちど目覚めてほしい。自身の偉大さに気付かぬまま、人生を悔い続け、おのれを責め続けて死んでほしくはない。

母は父に死なれたそのとたんから、虹を追って走ったのだと安男は思った。まっすぐに、わき目もふらず、空の彼方にかかった七色の虹を追って。永遠にたどりつくはずのない、いやこの世に有りうべくもない、としての人生を追って。

「城所さあん、行きますよ」

ストレッチャーが病室に運ばれてきた。

「眠っちゃいましたけど」

人形のような母の体が、若い看護婦たちの手でストレッチャーに移された。老婦長が安男の背中を押した。

「ついに行つて。声は聴こえてるはずですから」

長い廊下を、安男は母の名を呼びながら歩いた。

何も見えず、何も聴こえなかった。ただ、四十年前の冬の日、この小さな体から自分は生まれ出たのだと思った。

「おかあちゃん。死ぬなよ。死んじやいやだ。話したいことがたくさんあるんだ。聞いてほしいことも、聞きたいことも、たくさんあるんだから。なあ、おかあちゃん、死ぬなよ」

母はわずかに^{また}瞼をもたげて、安男の手を握り返してくれた。

「兄貴たちは、おかあちゃんのことを恨んでなんかいないよ。みんなおかあちゃんのこと、大好きだよ。^⑥偉くなりすぎたから、大勢の人に頼られて、ものすごく忙しいんだ。俺だけバカだから、こうして付いてやる時間があるんだよ。死ぬなよ、おかあちゃん。兄貴たちを泣かせるなよ。何もしてあげられなかったって、兄貴たちを泣かせないでくれよ。なあ、おかあちゃん」

手術センターの廊下を、ストレッチャーは舟のように滑って行く。

観音開きの扉が、ひとつずつ、見知らぬ世界の蓋を開く。

銀色の最後の扉の向こうに、輝かしい光を背負って、術衣に身を固めた医師団が立っていた。

（浅田次郎『天国までの百マイル』）

（注） ＊バブルの崩壊＝一九八六年から一九九一年にかけて、投機によって地価や株価が異常に上昇した。バブル（泡）にたとえられたこの状況は、最後はまたたく間に終わりを告げた。

＊ストレッチャー＝患者などを運ぶ車輪のついた移動寝台。

＊看護婦＝看護師の以前の呼び名。

問一 傍線部①「兄貴たちも、もうじき着くって」とあるが、安男のこのような「嘘」は、どのような意図を含んでいると考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 頑張って手術を乗り越えれば、子供たちに会えるのだという希望を母に伝えようとした。

イ 母の心の負担を少しでも減らすことで、手術を乗り切る気力をもたせようとした。

ウ 兄弟が集まらねばならないほどの重大な手術なのだと、母親に確認させようとした。

エ 手術に臨む母親に、母を思う子供たちがほかにもいることを思い出させようとした。

問二 傍線部②「きっと間に合わないだろう」とあるが、母がこうに言った背景にある心理としては不適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えなさい。

- ア 手術の時間が早朝なので子供たちに会えない不満を、安男にそれとなく訴えている。
- イ 子供たちが来ないだろうことはわかっていると、安男に対して間接的に表現している。
- ウ 兄弟の不在を気づかう安男に調子を合わせて、自分に対する思いやりに応えている。
- エ 万が一のことがあって、二度と子供たちと会えなくなる可能性もあると考えている。

問三 思考力・判断力・表現力 傍線部③「安男は泣きながら笑った」とあるが、Ⅰ「泣きながら」Ⅱ「笑った」の理由を、それぞれ二十字以内で簡潔に答えなさい。（句読点も字数に含める）

問四 傍線部④「誰にも負けてほしくないんだよ」とあるが、このように言う母の心の中にあるのは、どのような思いだと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 母親として、子供に多くのことはしてやれなかったという自責の念。
- イ 優秀な子供たちをもつことによってのみ満たされる、親としての誇り。
- ウ 子供が社会的に成功することに対する、ほとんど病的なまでの執着心。
- エ 所有するお金の量では人の価値は決まらないのだという、強固な信念。

問五 傍線部⑤「大金持ちの社長夫人になれ」とあるが、母が安男に、英子へのこのような伝言を頼んだのはなぜだと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 安男のことは完全に忘れて、お金持ちの人と再婚して欲しいと思っているから。
- イ 英子には、自立して会社を起こし立派な社会人になることを期待しているから。
- ウ 英子に、安男との生活をやり直して幸せになってもらいたいと思っているから。
- エ 安男の描いた夢を現実のものにできるのは、英子以外にないと考えているから。

問六 空欄部を補う言葉として最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

- ア 理想の女性
- イ 完全なる母
- ウ 豊かな妻
- エ 永遠の恋人

問七 傍線部⑥「偉くなりすぎたから、大勢の人に頼られて、ものすごく忙しいんだ」とあるが、この言葉から読み取れる安男の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 母の恩を忘れて尊大な態度をとる兄弟たちをそれとなく皮肉りながら、もう今では母親の命よりも大切なものがそれぞれにできたのだと示唆しようとしている。

イ 母が自分たち兄弟を立派に育ててくれたことに感謝する気持ちを伝えると同時に、兄弟たちの振る舞いを弁護して、母の気持ちを慰めようとしている。

ウ 兄弟が皆、他人からの信頼を得ることができるようになったのは、母親の教育のおかげであることを確認しつつ、母親が冷静になるよう諭そうとしている。

エ 兄弟たちが母親の手術に際しても面会に来ないでいることに激怒し、母親の立場に立つことによって彼らの親不孝を糾弾しようとしている。

(様式5)

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1 第3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	数学 I																			
出題のポイント	日常的な事象について，問題文から読み取った情報を 1 次不等式に表すことにより，考察を行い，その結果を用いて，当該事象について数学的に説明することができるかをみる。																			
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1	○		2	○		3		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																		
1	○																			
2	○																			
3		○																		
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	1		○		2			○	3			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																	
1		○																		
2			○																	
3			○																	
サンプル問題1	1回に900 kgの重さまで運ぶことのできるエレベーターがある。このエレベーターを使って，1個50 kgの荷物を2人で何個か運びたい。荷物を運ぶ2人の体重の合計が130 kgであるものとして，次の問いに答えなさい。ただし，荷物を運ぶ2人もエレベーターに乗り込むものとする。 (1) 1回にx個の荷物を運ぶとき，全体の重さをxを用いた式で表しなさい。 (2) 1回に最大で何個の荷物を運ぶことができますか。(1)を利用して，不等式をつくって求めなさい。 (3) この荷物が100個あるとき，すべての荷物を運ぶためには最低何回かかるかを，Aさんは6回かかる予想しました。この予想について，Aさんの予想は正しいかどうか，その理由を数式や言葉を使って説明しなさい。																			

解答例	(1) $50x + 130$ (kg) (2) $50x + 130 \leq 900$ を解いて、$x \leq 77/5$ ($=15.4$) この不等式を満たす最大の整数は 15 だから、15 個。 (3) n 回かかるとすると、$15n \geq 100$, $n \geq 20/3$ この不等式を満たす最小の整数は 7 だから、最低 7 回かかるので、 A さんの予想は正しくない。 〔(3)の解答容認例〕 ● $100 \div 15 = 6$ 余り 10 ($100 \div 15 = 6.6\cdots$) あまりの 10 個を含めて、$6 + 1 = 7$ (回) かかるので、A さんの予想は正しくない ● $100 \div 6 = 16$ 余り 4 ($100 \div 6 = 16.6\cdots$) > 15 1 回に運ぶことができる重さをこえているので、6 回では全部の荷物を運びきれない。 よって、A さんの予想は正しくない。 〔(3)の誤答例〕 ● n 回かかるとすると、$15n \geq 100$, $n \geq 20/3$ ($=6.6\cdots$) よって、6 回で正しい。 ● $100 \div 15 = 6$ 余り 10 ($100 \div 6 = 16.6\cdots$) よって、6 回で正しい。 ● 正しいか正しくないかの記述がない。
(参考)学習指導要領の関連項目	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1 第3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	中学校数学，数学Ⅰ																											
出題のポイント	正の数と負の数について理解し，その四則計算ができるかをみる。 文字を用いた式の計算ができるかをみる。 単項式の乗法，除法の計算ができるかをみる。 数学Ⅰ範囲の文字を用いた式の展開ができるかをみる。 循環小数を分数で表すことができるかをみる。																											
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1	○		2	○		3	○		4	○		5	○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
1	○																											
2	○																											
3	○																											
4	○																											
5	○																											
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	1		○		2		○		3		○		4		○		5		○	
小問番号	選択式	短答式	記述式																									
1		○																										
2		○																										
3		○																										
4		○																										
5		○																										
サンプル問題2	次の各問いに答えなさい。 (1) $-4+\{5+(-2)^3\}$ を計算しなさい。 (2) $3(2x^2-4x+7)-2(x^2-3x+5)$ を計算しなさい。 (3) $8a^5b^7\times 3ab^2\div (-6a^2b^3)$ を計算しなさい。 (4) $(5x-9)(3x^2-x+3)$ を展開しなさい。 (5) 循環小数 $0.\dot{2}7$ を分数で表しなさい。																											
解答例	(1) -7 (2) $4x^2-6x+11$ (3) $-4a^4b^6$ (4) $15x^3-32x^2+24x-27$ (5) $3/11$																											

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 A 数と式 (1) 正の数と負の数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。 中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 A 数と式 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。 数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
---------------------------------------	--

サンプル問題について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	英語コミュニケーション I																							
出題のポイント	英語の「聞くこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べることを目的。主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた英文を聞き取り，その英文を理解し，正しく応答する能力の定着度合いを測定するのが目的である。																							
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○										
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○								
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
(1)	○																							
(2)	○																							
サンプル問題	1 読み上げられる英語の発言を聞いて、 それに対する受け答えとして最も適切なものを、印刷されているア～エの中から1つずつ選ぶ問題です。英語の発言は2回ずつ読み上げられます。 (1) (放送される英文) How old is your father? 問題冊子に印刷されている選択肢 ア. I know your father. イ. He is in his room now. ウ. I was born in 2008. エ. He is 47. (2) (放送される英文) What time will you be back home? 問題冊子に印刷されている選択肢 ア. I'll be back by six. イ. It's 10:30 now. ウ. I'll buy a new bag. エ. The shop closes at seven.																							
解答例	(1) エ (2) ア																							

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校 英語 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。
-----------------------------	---

	高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
--	--

サンプル問題について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	英語コミュニケーションⅠ			
出題のポイント	英語の「読むこと」に関する技能の定着度合いを調べることを目的。中学校「英語」および高校「英語コミュニケーションⅠ」の内容を含めた 200～250 語程度の説明文や物語文などの英文を読み、基礎学力の定着度合いを測定する。			
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	
	(問1)		○	
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式
	(問1)	○		

主として 問う技能 (英語の み)	<table><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr><tr><td>(問 1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(問 1)		○												
小問番号	聞く	読む	話す	書く																	
(問 1)		○																			
サンプル 問題	2 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。 Today I’ m going to talk about my dog, Sora. About three months ago, my mother and I went shopping one Saturday afternoon. When we *passed by a park, we saw a *puppy at the entrance of the park on our way back home. Nobody was around him. It was a very cold day and getting dark. We thought we should not leave him alone there, so we took him home. The next day, my mother and I began (A) <u>(look)</u> for his *owner. First we reported about the puppy to the local police. Then we went to tell an animal doctor about him. On Monday morning, my mother also reported about him to the city office. But we couldn’ t get any information. A few days later, I made a poster to find his owner on my computer. I put his photo on it. I made 10 copies of the poster, and my mother and I posted them at *various places such as a community center, a city library, and a supermarket. Two months *passed, but B. During the days, I walked him every day. He was so cute, and I came to love him. He seemed to like me, too. Finally, we decided to keep him. He became an official member of our family at the beginning of this March. I named him Sora because I first met him under the sky! Thank you for listening. 〔注〕 pass by ～ (～のそばを通る) puppy (子犬) owner (飼い主) various (さまざまな) pass (〈時が〉過ぎる) keep (〈動物〉を飼う)																				

	問 空欄Bに入れるのに最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。 ア. we stopped looking for the dog イ. we found his owner at last ウ. we still couldn't find his owner エ. we didn't do anything to find his owner
解答例	(問) ウ
(参考)学習指導要領の関連項目	中学校 英語 学習指導要領より [思考力, 判断力, 表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し, 英語で表現したり, 伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について, 英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり, その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について, 簡単な表現が用いられている広告やパンフレット, 予定表, 手紙, 電子メール, 短い文章などから, 自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ, 物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで, イラストや写真, 図表なども参考にしながら, 要点を把握する活動。また, その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 読むこと (ア) 日常的な話題について, 必要に応じて, 別の語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら, 電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り, 書き手の意図を把握する活動。また, 読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について, 必要に応じて, 別の語句や文での言い換えや, 書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら, 説明文や論証文などか

	ら必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
--	---

サンプル問題について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーションⅠ																							
出題のポイント	英語の「書くこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べるのが目的。中学校「英語」および高校「英語コミュニケーションⅠ」の学習によって身に着けた知識を活用し、情報を英文で説明する能力の定着度合いを測定するのが目的である。																							
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等				○													
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
		○																						
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式				○												
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
			○																					
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く					○										
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
				○																				
サンプル問題	3次のイラストは、メアリー(Mary)が来週の日曜日に開かれる自分が出演するコンサートのチケットをトム(Tom)に渡そうとしているところを表したものです。しかし、その日トムはコンサートを聴きにいくことができません。あなたはトムがどのようにメアリーに返事をすると考えますか。トムがコンサートを聴きにいけない理由を自由に想像して、15～25語の英語で書きなさい。英文は2文以上になっても構いません。																							
解答例	<解答例1> I'm sorry I can't go to the concert because I have to stay at home next Sunday. (17語) <解答例2>																							

	I will have a soccer game next Sunday. So I can't go to the concert. Sorry. (16 語) ・問題の意味を理解し、それに対し適切に答えられることを確認する。 ・「コンサートに行けない」という断りの文と、その理由が書けていることを確認する。 <採点の条件> ①「(コンサートを見に行くことが) できない」と伝えている。 ②行けない理由を伝えている。 ①・②の両方を満たしているものを正答とする。 ・15 語未満もしくは 25 語以上であっても、条件②の内容が含まれていれば部分点を与える。
--	--

(参考) 学習指導要領の関連項目	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 カ 書くこと 高等学校 英語コミュニケーション I 学習指導要領より 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動
------------------	---

サンプル問題について

事業者名:Gakken

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):4

出題科目	英語コミュニケーション I		
出題のポイント	英語の「話すこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べるのが目的。中学校「英語」および高校「英語コミュニケーション I」の学習によって身に着けた知識を活用し、与えられた場面設定（日常で起こり得る状況設定にする）を理解し、状況に適した会話を発話する能力の定着度合いを測定するのが目的である。		
主として	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等

問う能力				○																				
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※「話すこと」に関する口頭式の出題のため、上記の「選択式」「担当式」「記述式」には当てはまらない。				小問番号	選択式	短答式	記述式																
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
主として問う技能（英語のみ）	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th></th><th>読む</th><th>話す</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	聞く		読む	話す					○										
小問番号	聞く		読む	話す																				
				○																				
サンプル問題	4 次の問いに答えなさい。 問い あなたのクラスにアメリカからの交換留学生エミリーがやってきます。そこで、クラスで話し合いを行い、1人1か所ずつ「あなたが好きな場所」をビデオメッセージで紹介することになりました。あなたならどこを紹介しますか。好きな場所とその理由を答えなさい。																							
解答例	I like Ueno zoo because I can see some pandas there. ・＜採点の条件＞ ①「好きな場所」と「その場所が好きな理由」が話せている。 ②設問とは無関係の内容を話している場合は採点対象外とする。																							

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	中学校 英語 学習指導要領より 2 内容 〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 エ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 オ 話すこと〔発表〕 (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 高等学校 英語コミュニケーションⅠ 学習指導要領より (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 エ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---------------------------------------	---